記者発表

令和元年10月13日　11時00分
摺　上　川　ダ ム 管　理　所

台風19号における摺上川ダムの効果について(速報)

（過去最大の流入量を記録）

(1)洪水の概要

台風19号に伴う降雨により、摺上川ダム流域では令和元年10月11日16時00分より雨が降り出し、10月13日11時00分までの累加雨量は215mmに達しました。

この影響により摺上川ダムへの流入量は10月13日0時50分にピークに達し、洪水量（100m3/s）を超える523m3/sの流入量（過去最大）を記録しました。

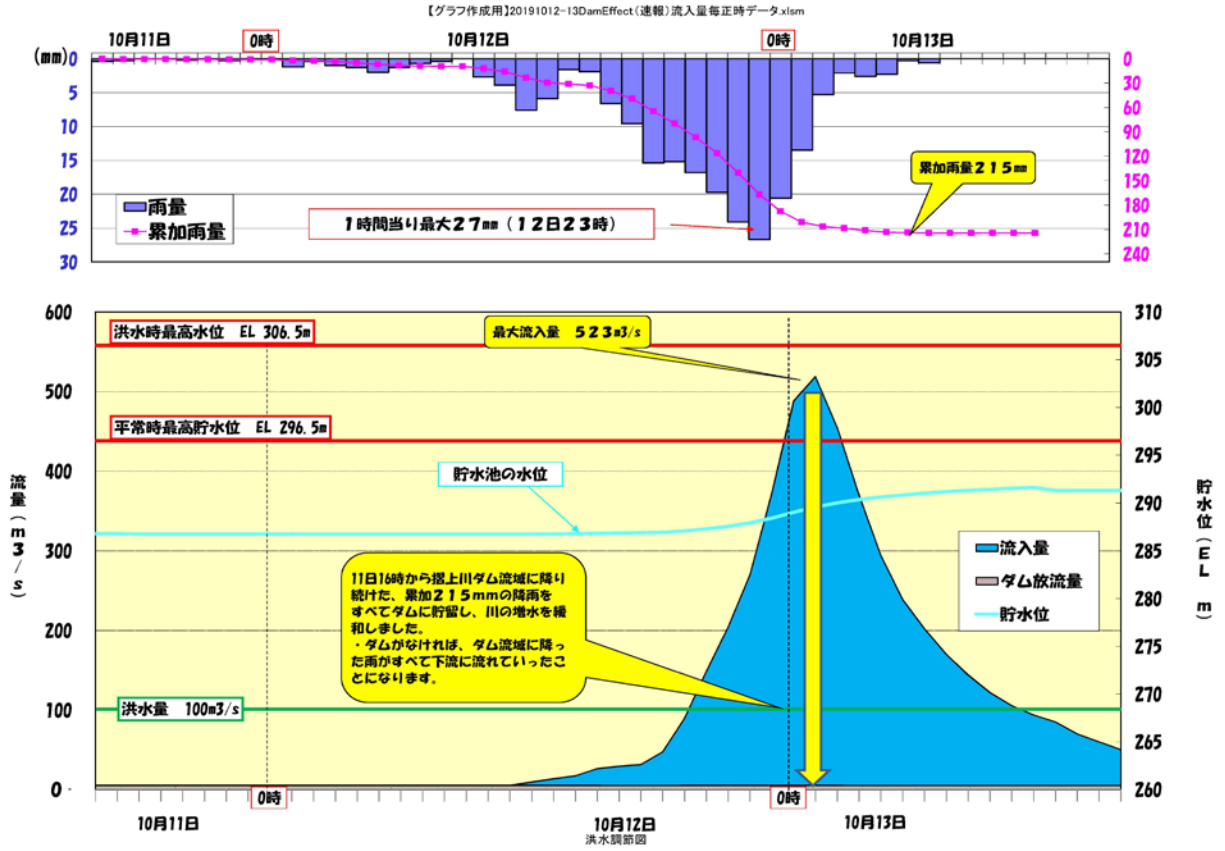
(2)摺上川ダムの効果

今回の洪水で流入量は最大523m3/sに達し、下流への放流量を4m3/sに抑え、「519m3/s」の洪水をダムで調節（貯留）することが出来ました。

貯留した水の量は、14，351千m3（東京ドーム11．5個分）にもなりました。

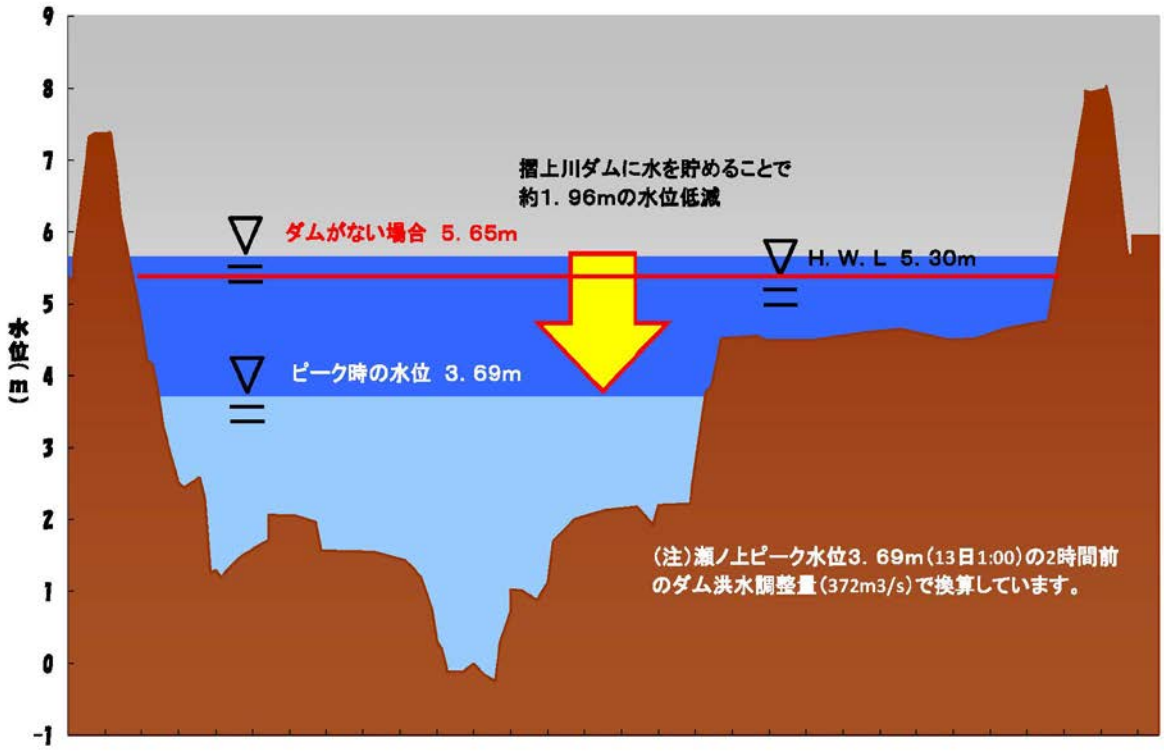
この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約1．96m低く抑えることが出来たと考えられます。

※防災操作のグラフはコチラ↓↓



記者発表

瀬ノ上地点ダム効果グラフ



※値は速報値であり、精査により今後見直しもあり得ます。

＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　摺上川ダム管理所 所　　長　　平山　孝信 管理係長　　髙橋　裕一 TEL：024－596－1275（代） FAX：024－596－1274